



7月 これからも「意欲に満ちた人」でいてください！ ～ 1学期をふりかえって ～  
八千代市立勝田台中学校 校長 丸山 太郎

1学期、保護者の皆様には、本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

お陰様で、生徒たちは、明るく元気に学校生活を送り、日々、成長しております。

4月7日、緊張しながら入学した1年生は、授業にも部活動にも学校生活にも前向きに取り組み、日に日に中学生らしく、立派になっています。夏休みから2学期に向けて、益々たくましく成長していく様子が楽しみです。

2年生は、5月から6月にかけて、将来の進路や「生き方」を考える契機とするべく、八千代商工会議所の皆様や地域で働きご活躍なさっている方々をお招きし、「キャリア教育」を行いました。学校とは異なる社会でご活躍なさっている方々のお話を伺い、質問等討議させていただいた経験は、今後の人生に必ず生かされることと思います。また、6月22日に行った「部活動 壮行会」では、最後の大会・コンクール等に臨む3年生に向けて、1年生をよくリードし、感動的な立派な応援を行いました。2学期は、生徒会、専門委員会、部活動等、2年生が学校の中心となります。2年生の一層の活躍ぶりが楽しみです。

3年生は、部活動、毎日の清掃活動、着任式・入学式・全校集会等の運営、新入生ガイダンス、生徒総会、専門委員会等、様々な場面でリーダーシップを発揮しました。それぞれの活動で成果を上げることができたのは、最高学年としての自覚と、後輩たちに対する思いやりの心が育っているからであると思います。今後は、進路へ向けた取組が中心となりますが、「何をしたいのか、何になりたいのか、どのような自分でありたいのか」＝「志」をしっかりと持って、自分自身を見つめ、将来の生き方を考えてほしいと思っています。

さて、6月下旬に、期末テストの答案が採点され返却されました。ご家庭でも話題に挙がったことと思います。4月から学習してきたことが身に付いているかどうかの確認です。満足できる結果を出せたのなら、この調子で努力し続ければよいでしょうし、そうでない結果であったなら、原因を分析し、満足できる結果が出るまで何度でも自分の取組を改善していけばよいと思います。

大切なことは、満足できる結果が出るまで努力し続けようとする「意欲」をもつことです。この「意欲」がある限り、人は必ず向上していくことができます。残念なのは、すぐにあきらめてしまう人です。あきらめてしまえば、新しい自分になることはできません。自分を伸ばすことができるのは、自分です。自分の将来を幸せにするのも自分です。学校でも、家でも、自分と真剣に向き合い、「意欲」をもって毎日の生活を大切にし、努力して行ってほしい、そのようなお話をしていただけましたら幸甚に存じます。

何かに向かって努力する、何かに挑戦する、そのような「意欲に満ちた人」でいてほしいと思っています。

ご家庭・地域の皆様に温かく支えていただいていることに深く感謝しつつ、今月も、お子様の成長を、教職員一丸となり全力で支援してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。